令和元年度(30年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市小泉公民館 >事務局案

1. 指定管理者名 公益財団法人 多治見市文化振興事業団 2. 指定期間 平成28年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日

(1)小泉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)小泉公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

· 採点表 評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		八托 部体 化二学	得点
運送・利用状 (40点)		①施設の利用率(利用時間 /日数×営業時間)			平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	分析、評価、指示等 年次報告書P120.121(利用率・利用人数) ※平均値比●% = (H30度主績) ・ (過去2年間実績平均値)) 大ホール:50.6%(平均値比102.2% = 50.6%・49.5%) 研修室(大):36.9%(平均値比104.2% = 36.9%÷35.4%) 研修室(小):36.1%(平均値比128.0% = 36.1%÷28.2%) 和室(1):23.9%(平均値比98.8% = 23.9%÷24.2%) 和室(2):21.8%(平均値比101.9% = 21.8%÷21.4%) 料理実習室:10.1%(平均値比106.3% = 10.1%÷9.5%) 多目的実習室:32.6%(平均値比113.2% = 32.6%÷28.8%)	5点
	(1)利用状況(10点)	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~ 95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0 点	平均値比(108%)=利用率(35.3%)÷32.8%(上記(2)適用) 平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※平成29年度選挙時の増加分は、特殊事情として比較対象から除く。 平均値比(98%)=利用人数(延べ44,666人)÷45,386人(上記(2)適用)	105%未満~95% 4 点	年次報告書P120.121(利用率・利用人数) ※平均値比●% = (H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:22,541人(平均値比95.4% =22,541人÷23,625人) 研修室:7,075人(平均値比94.4% =7,075人÷7,495人) 会議室:3,704人(平均値比119.8% =3,704人÷3,093人) 和室(1):3,416人(平均値比100.0% =3,416人÷3,417人) 和室(2):2,526人(平均値比103.3% =2,526人÷2,445人) 料理実習室:1,124人(平均値比102.4% =1,124人÷1,098人) 多目的実習室:4,280人(平均値比101.6% =4,280人÷4,215人)	4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15 点)		15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の 一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P123~135(文化事業一覧) ①公民館まつり ・小泉公民館まつり(第25回ドリームオンステージ 出演団体28チーム 300人 第26回ココロのハンドメイド展 246人) ②地域意識醸成事業 ・第18回小泉ふれあい広場 500人 ・早朝ウォーキング 22人、秋ウォーキング 19人 ・小泉寄席 87人 ・シナプソロジーで脳の活性化 2回 49人 ・「脳トレ、第トレ、笑ットレ」で脳の活性化 2回 39人 ・健康体操 16人 ・ラジオ体操 59回 1,502人	仕様書以上 15点	・小泉公民館まつり:第25回ドリームオンステージは、オアシスカレッジからの歌の講座受講者や多くの参加者があり、第26回ココロのハンドメイド展は、利用団体の発表の場として素晴らしいできばえの作品が並び文化の秋を満喫できた。・小泉ふれあい広場は年号変更をうまく取り入れたテーマの事業となり、地域の方に多く参加してもらえた。 ・健康部会のボランティアの協力を得て、健康づくり事業が定着してきている。・公民館活性化委員の会等、地域団体との協力事業の開催として開催したウォーキング事業は、地域の歴史を知る機会と絡め、魅力ある事業となった。・多彩な講師陣を迎え楽しい地域協働事業となっている。・23区大原児童館複合化推進委員会健康部会と共催でラジオ体操を毎週実施。 ・公民館活性化委員の活発な活動により、「第71回全国優良公民館表彰」を受	15点
	(3)自主事業の企画・運	営·実施(15点)	15	常数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年よりかも劣る:6~3点、内容・事業数等が例年より分る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり	年次報告書P123~135(文化事業一覧) ○オアシスカレッジ 46回 1,001人 ○親育ち43.6.3たじみプラン ・親子講座(親子DIY教室、親子スイーツづくり、パパと一緒に歌ってあそぼ!)58人 ・リトルカレッジ(子ども将棋教室、子どもクッキングほか3講座)492人 ・キラキラキッズサロン(子育て相談、ベビーマッサージ、おひるねアート夏、秋、クリスマス会)111人 ○サロンかふえ(クラフトかふえ 6回 138人、オアシスかふえ 6回 120人) ○コンサート 4回 433人 ○保健センター受託事業 (市民健康づくり事業、健康チャレンジ講座、スポーツ振興事業)651人 ○学習館共催(県立多治見病院健康講座)32人 ○フロントギャラリー 19展 12,100人	期待以上 14点	・オアシスカレッジ はじめの一歩で講座として行った色えんぴつ画と水彩画は、生涯学習として始めてみたいものにあげられ、いくつになっても続けていける趣味としての位置づけが確立し、同好会として公民館で活動することとなり、利用率アップにもつながった。 ・親育ち4.3.6.3たじみプランのパパと一緒に歌ってあそぼは、いつも忙しいパパと一緒にリトミックを通じて触れ合う機会がもてた。・リトルカレッジの子ども将棋教室は、日本将棋連盟公認講師が、毎週土曜日に子どもたちにボランティアで指導を行い、異世代間の交流と資格取得に向けた取り組みとなった。・キラキラキッズサロンの子育て相談は、子育て中のママが日ごろ不安に思っていることなどを気さくに相談でき、とても良い時間となった。・昨年に引き続き大人気となったクラフトかふえは、毎回手作りのサロンとして定着してきており、楽しみに参加する方が増え、楽しくモノづくりができた。・オアシスかふえのカラオケしましょうは、時間いっぱい皆さんとカラオケを楽しむことができ、同好会として公民館で活動することとなり、利用率アップにもつながった。・運動チャレンジ事業として実施したフォークダンスで楽しくは、多くの方の参加があり事業終了後、フォークダンスを楽しむ同好会へ移行し、公民館大ホールを使っての継続的な活動となり、利用率アップにもつながった。	14点
	(1)施設管理業務の実 施状況(10点)	①清掃 ②保守·点検	_ 10 (①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する	年次報告書P137(維持管理業務) ・施設内清掃(基準:毎日)を実施 年次報告書P137(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・エレベーター設備保守点検(基準:年12回)・・・年12回実施	適正(普通) 2点 適正(普通) 2点	適正に実施されている。 適正に実施されている。	10点
		③保安·警備 ④小規模修繕				適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		(4)小規模修繕 (5)危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・小規模修繕 14件 総額 1,063,686円・朝夕の日常点検を実施。・日常点検内容を連絡日誌に記載し全職員が共有。	適正(普通) 2点 適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

L				- フーノハ・バート7 立事英班を実体	T	次エに字体されている	1
		①文書管理	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり: 1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・ファイリングによる文書管理を実施。 ・書類の使用頻度に合わせて保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
施設管理状 2 (25点)	(2)その他管理業務の	②環境への配慮		・使用頻度の高い部屋の照明をLED化。(大ホール、研修室、図書室(一部)、事務室)・緑のカーテンの活用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③バリアフリー		・廊トや階段の手すりの日常点検を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		④備品管理		備品の安全管理を実施。経年劣化等を確認し、積極的に買替、廃棄を実施。 利用者目線で備品を配置。 適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護		・職員の机上が見えないよう、衝立を設置。 ・個人情報が不要となった場合、シュレッダーにて即処分。 ・個人情報取得時に、利用者に利用目的について説明。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び の 事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不 備あり:△1点)	・車を駐車しようとしたところ、アクセルとブレーキを踏み間違え、大ホール南側の柱と窓ガラスに激突。人的被害なし。大ホール南側サッシ枠、窓、カーテンが破損。保険により修繕。修理期間3ヶ月。	事故なし・対応に不 備なし 0点	事故なし	0点
3 当該施設の約 (5点)	圣営状況	①事業収支	5 当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入21,756,490円÷支出22,122,258円=98.3%	100%未満 3点	収支としては若干のマイナスとなっているものの、適正に経営されている。	3点
	(1)市民・利用者の声	①ニーズの把握・事業への反映	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あ り:4~1点	・水彩画や色えんぴつ画を習いたい →講座を開講。講座終了後、同好会として活動するようサポート。 ・「サロンかふえ」でカラオケをやってほしい。 →カラオケセットを借用し、講座を開催。	期待以上 8点	要望に対し、適正かつ迅速に対応している。	8点
	の反映 (15点)	②苦情対応	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1 5 点 ※苦情なしは4点とする	・夏場に研修室(大)の部屋のにおいが気になる →窓の定期的な開放、業者による清掃により臭いを軽減。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対して、迅速に、適正に処理している。	4点
より良い施設 運営のため の取組 (30点)	(2)より良い施設運営勢、上記1~3の評価[・事業実施のための提案・姿 こ反映されないその他の成果 ント(15点)	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 15 期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通 未満~物足りない:8~0点	・経年劣化した備品・消耗品の買い替えの推進。 ・照明のLED化の推進。 ・3ヶ月に1回程度の除草作業及び、花や剪定による景観の整備。 ・利用者のニーズに合わせた部屋の環境づくり。 ・料理実習室の備品点検及び買替、追加の推進。ガスの取扱いへの注意喚起と点検の実施。 ・地域のニーズを把握し、積極的に参加できるような取組を地域団体と連携しながら目指す。(北栄地域包括支援センター、23区大原児童館複合化推進委員会、KSCこいずみ総合クラブ等) ・小泉小学校建替工事よる小学校利用停止期間中の、小学校で開催予定の地域イベントへの会場協力。 ・小泉公民館活性化委員会事業の推進。 ・小泉公民館ジンボル事業「オアシスカレッジ」の推進と、新規講座の追加。 ・親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業の継続開催。 ・親子講座、子ども講座の推進。	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施のための提案がされている。 ・地域のニーズを把握し、積極的に参加できるような取組を地域団体(小泉公民館活性化委員会、北栄地域包括支援センター、23区大原児童館複合化推進委員会、KSCこいずみ総合クラブ等)と連携しながら事業を進めている。	14点
	(1)報告書類の提出状況	兄	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり、軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
5 その他 (減点方式)	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以 外)等		指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 0 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等 が期待どおり 減点 なし		0点
1						<u>△</u> ℎℎℎ℩≒ℼℼ	合計87点
숌計			【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・活性化委員の協力のもと、地域協働事業展開が認められ全国優良公民館表彰の受賞につながった。 ・同好会化を見据えた自主事業により、3つの新規同好会の活動が始められた。 ・好評であったサロン事業の継続及び新たな事業により利用率アップとなった。 ・利用者のニーズを的確に捉え、快適な施設の管理ができている。。・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	極めて良好